

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ロータリーは機会の扉を開く

創立 1967年 12月 26日

- 会長 佐藤 多加志
- 幹事 東村 正剛
- 広報委員長 森田 武雄
(会報)

大東ロータリー会長テーマ

「ロータリーの機会はであい から」

2020年～2021年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

令和2年9月29日発行

No.2510

今週の予定 (9月29日)

臨時休会

次週の予定 (10月6日)

臨時休会

先週の例会報告

◆ 出席報告 (9月15分)

臨時休会

前々回9月1日

臨時休会

お知らせ

大阪府新型コロナ警戒信号が、「黄色ステージ1」「青色」の場合例会を開催すること、新型コロナウイルス環境下のクラブ運営規定を一部改訂し例会を開催することとなりました。

- ・ 9/29 臨時休会
- ・ 10/6 臨時休会
- ・ 10/13 例会再開



ニコニコ箱

後面に記載

今期累計	63,000円
年間予算	2,200,000円
達成率	2.86%

皆さん、こんにちは

10月3週目 13日より例会を再開します。新型コロナウイルス環境下のクラブ運営規定を一部改訂します。大阪府の「新型コロナ警戒信号」が、「黄色ステージ1」「青色」の場合開催する事と致しました。開催に関しては、これまで通り感染対策は徹底し座席設営はスクール形式とさせていただきます。

皆さんと再会出来ることを楽しみにしています。

過日、9月22日に「ロータリー旗争奪少年野球大会」 決勝並びに閉会式が行われ柿木委員長、東村幹事と出席してまいりました。

決勝戦は寺川ブラックス対オール住道 熱戦の結果、オール住道が優勝、寺川ブラックスが準優勝という結果となりました。オール住道は9月の大阪府労金杯で優勝し近畿地区大会でも19-2と大差で優勝しました。小柄なメンバーですが凄いチームです。

他のチームにとっても今後の励みとなると思います。

また、9月25日には社会奉仕委員会事業として徳洲会野崎病院へ陰圧ブースを寄贈いたしました。医療現場における新型コロナウイルス感染対策の一助として寄贈させて頂きました。当日 贈呈式を行って頂き中川病院長より現在でもひっ迫した感染症棟のお話を聞き昨今、一般国民は連日のメディアによる「感染報告」も慣れ浸しんでしまっている環境ですが、医療現場では感染患者さんの悲痛な完治願の叫びやご高齢感染患者様重篤からの回復処置治療の懸命さなど、非常に緊張感と緊迫感が引き続いている事を伺い、改めて危機感を感じ医療従事者の方々への感謝する次第です。

寄贈させて頂いた陰圧ブースが、使用する機会の無い事を願うばかりです。

また、2021年3月にIM3組 ロータリーデーですが、当クラブがホストであり田川実行委員長の下、着々と準備が進められ10月5日の3組会長幹事会(燦々会)で各クラブのご承認を頂く予定となっております。本年度はコロナ禍で開催を前提とし、ライブ配信で全メンバーに閲覧参加頂く設営で進めて頂いております。承認頂き、詳細が決定次第 改めて報告させていただきます。

有難うございました。

9月 臨時理事会 報告

< 議 題 >

- 1. 求人の件の件 承認
- 2. 事務局内への金庫設置の件 承認
- 3. ロータリークラブ基幹システム導入についての件 承認
- 4. 例会運営改訂の件 承認
- 5. 森田会員 入院(お見舞金)の件 承認

<報告事項>

バッジ募金について、本年度は、佐藤会長より 20,000 円(領収書添付)の全額拠出頂き、当クラブ名義にてバッジ募金をさせて頂いておりますと間社会奉仕委員長より報告がありました。
求人アイテム支払いについて幹事より報告がありました。
例会場用体温計購入について幹事より報告がありました。

委員会報告

◎青少年奉仕委員会

委員長 柿木 篤

令和2年9月22日(火・祝日)大東公園におきまして、大東ロータリー旗争奪少年野球大会の決勝戦が執り行われました。決勝戦はオール住道と寺川ブラックスのカードで、天候にも恵まれ両チームとも白熱した、好ゲームでした。試合は1回裏にオール住道が2ランホームランで先制すると、2回表に寺川ブラックスがタイムリーヒットで1点を返し反撃、その後両チームともピッチャーの好投、好守備で無得点が続きましたが、終盤オール住道が追加点をあげ勝負あり。3対1でオール住道が優勝、寺川ブラックスが準優勝という結果となりました。

また今大会中どのチームにもコロナの発症者もなく、無事に終えれたことにチーム関係者、そして大会運営していただいた大東市スポーツ少年団野球部会関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

第41回大東ロータリークラブ旗争奪少年野球大会 決勝戦～閉会式

2020.9.22 大東公園







◎社会奉仕委員会

委員長 間 紀夫

大東ロータリークラブでは、新型コロナウイルスの蔓延を受け、『新型コロナウイルスと日々戦う医療従事者へ感謝と支援を』と題し、2660 地区補助金を頂き、医療機関に対して感染症対策設備を寄贈するプロジェクトを進めてまいりましたが、令和2年9月25日（金）、医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院におきまして、感染症対策用折り畳み式簡易ブース（陰圧型）の贈呈式を執り行うことができました。

大東ロータリークラブからは、佐藤会長、東村幹事、森田広報委員長、間社会奉仕委員長の4名で出席させていただきました。

今回寄贈させていただきました感染症対策用折り畳み式簡易ブースは、ブース内を陰圧に保ち、感染された方等からのウイルスの拡散を防止する設備となりますが、新型コロナウイルスの最前線である医療機関における感染防止対策の一助となることを願うとともに、医療従事者の方々の負担を減らすことに繋がることを願っております。

また、贈呈式におきましては、野崎徳洲会病院より感謝状をいただくとともに、中川病院長から、『今回の寄贈は、日々医療と向き合っている者にとって、外部の方々自分たちの活動に目を向けてくれていることを意味するものであり、その意味でも大変励みになるものと思います』と感謝の言葉を頂戴いたしました。

一方で、『世間では新型コロナウイルスへの関心が日々薄れているように思いますが、いまだ医療現場では新型コロナウイルスに罹患された患者さんに対する懸命な治療が日々

続いています』と、医療現場の切迫した現状についてもお話がありました。中川病院長の言葉を受け、あらためて医療従事者の方々への感謝の気持ちを強くするとともに、コロナウイルスの感染をできる限り防止するために、あらためて、一人一人が自覚を持ち、できる限りの感染対策を行うことが必要であることを痛感いたしました。コロナウイルスとの戦いは、まだまだ続くものと思いますが、力を合わせてこの困難を乗り越えていきましょう。

